

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	プライマル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.540	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：プライマル**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：QZ2**

フレアーの幅  インチ

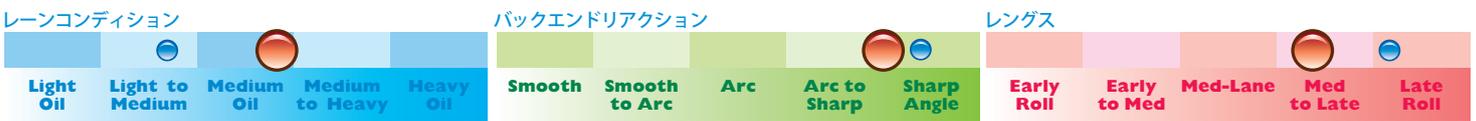
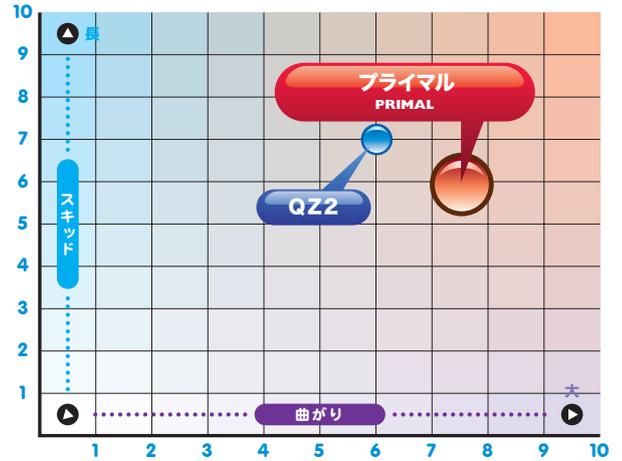
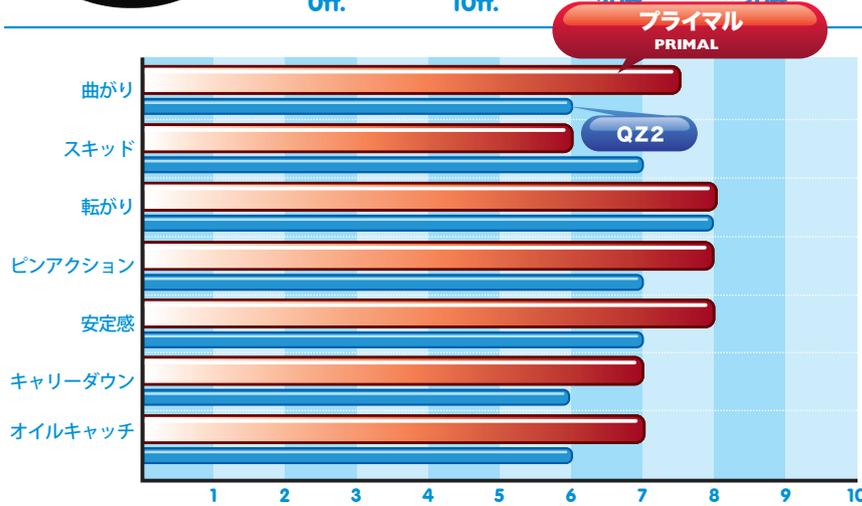
PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



### ボールの評価

この”PRIMAL”はオイルに強い新開発ViciousカバーストックにPearlを組み合わせ、キャッチの強さの中にもスキッド感を見出し、#2000ポリッシュに仕上げたバックエンドまでの総合的パフォーマンスのバランスを図ること。

Thrustコアを使用しているのは先での動きを強調させるためであり、ボックスポリッシュではミディアムコンディションを中心に攻撃的なラインを取るための設定に仕上げています。

私は今回の設定されたViciousカバーストックPearlと#2000ポリッシュの組み合わせは、やや性能を抑えて発売しているように感じられました。テストにおけるデータでは、表面加工を#4000アブラロンに仕上げただけでもかなりの摩擦の強さを感じることができ、#2000アブラロン加工ではオイルに左右されないトラクションとキャリーダウンに影響の少ないリアクションを得ることができました。また#2000アブラロン加工を施してもバックエンドの動きは丸く感じるどころか、一気に向きを変えるような鋭いリアクションを感じることができたのも、ミディアムからヘビーまで使用できる領域の広さとその潜在能力の高さが伺える仕上がりに感じています。

その為ミディアムコンディションを中心にしようするのであれば箱出しのまま、スキッド調整にはアブラロンの#4000を使用し、ヘビーなコンディションに使用するのであれば#2000アブラロンで仕上げれば問題は一気に解決します。

PRIMALのネーミング通り、「第一の」このボールに代わる事のない唯一のメインボールとなるために…。

MOTIV社の挑戦はまだこれからも続きます。

### 特記事項

**初期設定の箱出し状態から表面加工次第で対応コンディションにも差がでます。使用したいコンディションに合わせて、自分流の表面加工でお試し下さい。**